

市長所信表明

自然を守り、文化を育む 魅力ある温泉健康都市を目指して

伊豆の国市の将来像は「自然を守り、文化を育む、魅力(ゆめ)ある温泉健康都市」です。この将来像を実現するため、伊豆の国市まちづくり計画にのっとり、六つの基本方針により説明いたします。

美しい自然に恵まれた快適な空間のまち

「自然を大切にしたいあるおいのあるまちづくり」を推進し、自然景観、温泉、地下水などの貴重な資源や多様な生態系を保護・保全しつつ、人と自然が共生できる仕組みをつくり出します。狩野川などの水辺空間を整備し、人々が気軽に自然に親しめる環境づくりに取り組むとともに、田園景観、歴史的景観など地域特有の美しい景観を保全・継承していきます。身近な公園、緑地、里山等の整備と、花と緑があふれる「景観に配慮した美しいまちづくり」を推進していきます。

「環境負荷の少ない資源循環型のまちづくり」を実現するため、環境に関する教育や学習の機会を広げ、市民の環境意識の高揚を図り、環境保全活動の活性化を図ります。市民、事業者、行政が一体となつて、省資源・省エネルギーに取り組み、環境負荷の少ないまちをつくることも、ごみの減量化や再資源化を推進し、リサイクル型社会の構築に努めていきます。

生き生き働く活気に満ちた産業のあるまち

「幅広い地域資源と結びついた観光交流の振興」を推進します。「伊豆は一つ」であると考え、伊豆地域における観光地の中核としての賑わいを高めるため、温泉、自然、歴史資産、農産物、健康産業など地域に存在する幅広い地域資源を活用します。伊豆の国市を訪れる観光客に、より高い満足度を提供できるよう、地域やボランティアの協力のもと観光地づくりを推進するとともに、海外からの誘客を促進

するため、国際化への対応と受け入れ体制の整備も検討していきます。規制緩和により映画やテレビの撮影をしやすくする「映像特区」の構想をより具体的に検討し、観光と結び付けたいと考えています。

農業については「付加価値の高い農林業の創設」を掲げ、生産・流通基盤の強化とともに、新たな特産品の開発やブランド化など農林業の育成に取り組みます。新規参入者の受け入れ体制の整備や経営感覚に優れた農業の担い手を育成することも重要と考えます。地産地消やスローフード運動と結んだ付加価値の高い農林業の振興に努めていきます。

商業については「まちづくりと結びついた商業の振興」に取り組めます。消費者が快適に買い物ができ、住民の交流の場としての商業環境の整備や商店街の活性化を進めていきます。空き店舗活用や新たな商業・サービス業の集積に向けた研究を支援し、商業の集積を図ります。

観光、文化、史跡、レジャーなどの情報を一カ所で発信できる施設を整備し、産業振興の司令塔となることを検討していきます。

このような産業振興を行うとともに、雇用機会の創設と職業能力の向上に取り組んでいきます。

未来を担う人を育み豊かな歴史・文化を築くまち

「未来を担う人づくり」として、伊豆の国市の未来を担う子どもたちが、心身ともに健康で、人間性豊かな市民として成長できるように、「魅力ある学校づくり」を推進するとともに安全・安心な教育施設の整備を進めていきます。「一人ひとりの個性が輝く生涯学習社会の創設」として、市民の能力や個性を伸ばすため、生涯学習施設の充実や生涯学習講座などを充実させ、魅力ある生涯学習社会を目指していきます。

「歴史・伝統文化の保護・継承と、地域の魅力となる新たな文化の創出」として、地域にある歴史資産・文化財・文化を大切に守り育て、地域の資産を活かした新たな文化の創出や芸術の創出につなげる努力をします。

だれもがすこやか元気に生きるまち

「生涯にわたる健康づくりと医療の充実」として、伊豆の国市の重要な資源である温泉を利用した健康づくりに取り組み、健康増進と予防に努めていきます。

TJ交差点までの合併支援道路の事業促進については、静岡県に対して積極的に要望していきます。公園や上下水道などの生活環境の整備も積極的に進めていきます。

みんなが主役 明日に向かって進むまち

「市民と行政のパートナーシップによるまちづくり」を推進します。市民・企業・自治組織・ボランティア団体などと行政が協力しながらまちづくりに取り組む体制をつくり出します。市民と行政との情報のコミュニケーション活動を実施し、積極的な情報の提供と共有化に取り組みする必要があります。地区との懇談会をなるべく早い時期に実施したいと考えています。

「地域づくり活動の支援と市民主体のまちづくり」を推進します。市民が主体となったコミュニケーション活動や地域づくり活動を積極的に支援し、市民主体のまちづくりを進めていきます。多くの市民が市政に関心を持ち市民としての責任が果たせるように、市政に参加できる機会や仕組みづくりを充実させます。

男女が良きパートナーとして、家庭、地域社会など様々な場面で個性と能力を発揮し、ともに責任を分かち合える社会である「男女共同参画社会」の実現を推進します。

「効率的な行政運営」を目的に、行政改革を進め、最小の経費で最大の効果をあげることができるよう、生産性の高い行政運営を行うとともに、職員一人ひとりにマネジメントの意識を持たせます。しかしながら、行政改革は市民の目線での改革でなければなりませんし、また、市民サービスが最優先されなければならないと考えています。

以上のように六つの基本方針を一つひとつ着実に達成することにより、伊豆の国市の将来像である「自然を守り、文化を育む、魅力ある温泉健康都市」が実現されると考え、全力を尽くす覚悟です。

市民の皆さんに喜ばれる行政を基本とし、旧三町の住民が「伊豆の国市」として早急に融和が図られ、「合併してよかった」と思ってもらえるような成果を早く出せるように努めていきます。行政が一丸となり市民の皆さんと一緒に力を合わせて、「伊豆の国市」をつくりあげていきたいと考えています。



防医療、介護予防の充実を図るため市民の意識啓発を図ります。各種のがん検診については無料とし、検診が受けやすい体制を整えます。さらに、医療機関と行政の連携による総合的な保健・医療体制の充実を図ります。

家庭や地域など社会全体で新しい時代を切り開く、心豊かでたくましい人材を守り育ていくために「子どもを安心して産み育てられる環境の整備」を進めます。多様化する保育ニーズへの対応や、相談機能の充実、就学前児童に対する医療費の無料化など地域や家庭における子育て支援体制の充実を行い、少子化対策を積極的に取り組んでいき、若い世代の人々が移り住んでくれ「子どもが声がる」魅力ある市にしたいと考えます。

「高齢者や障害のある人への福祉の充実」として、特別養護老人ホームの拡充や障害者用の入所施設等の促進等、福祉施策の充実を図ります。高齢者や障害のある人が積極的に社会参加できるように環境の整備を進め、かつ住民相互の思いやり、助け合いのある地域社会をつくるため、地域の福祉団体、ボランティア団体の活動を推進していきます。

住みたい訪れたいにぎわいのあるまち

安全と安心を確保するために、「安全に暮らせるまちづくり」を推進します。住民や観光客の生命と財産を守るため、水害対策や土砂災害対策、地震防災対策の強化を図っていきます。特に、守木山田川、小坂戸沢川、四日町古川の整備については、静岡県に対して積極的に要望していきます。また、緊急時の安全・安心を守るために、消防・救急体制の充実、日常生活の安全・安心を確保するため、防犯対策、交通安全対策を進めていきます。

「にぎわいのあるまちづくり」として、世代、地域を超えて、文化・スポーツ・ボランティア活動など様々な交流の機会を持つことができるように支援します。自然・文化・歴史等の地域資源をネットワーク化し、魅力を高めるとともに、自然体験観光やエコツーリズムなどの新しい地域づくりを進めていきます。

また、「快適な暮らしを支える質の高い都市基盤の整備」を進めます。幹線道路や生活道路の整備はもとより、住民や観光客の利便性を高めるため、鉄道駅周辺の整備を図るなど、交通機関の利便性を向上させます。特に、県道葎山伊豆長岡修善寺線 古奈交差点から長岡N